

合金（合金の処理 C21D, C22F）

注

このサブクラスにおいては、下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：

— “合金” は以下のものも含む：

（a）繊維またはその他のやや大きな粒子を相当量含有する金属複合材料；

（b）炭化物、ダイヤモンド、酸化物、ほう化物、窒化物もしくはけい化物に結合しているか、または他の金属化合物、例. 酸窒化物もしくは硫化物、と結合している巨視的な強化剤としての使用以外の遊離金属を含有するセラミック組成物、例. サーマット [4]

— “基” は特定の成分または特定の族の成分を少なくとも 50 重量% 含有していることを必要とする。 [2]

サブクラス内の索引

非鉄合金.....
製造 1/00, 3/00.....
特定の物質を基とするかまたは含有するもの 5/00-32/00 ..
鉄合金.....
製造 33/00.....
母合金 35/00.....
合金鑄鉄 37/00.....
鉄合金 38/00.....
放射性の合金 43/00.....
非晶質の合金 45/00.....
繊維またはフィラメント 47/00, 49/00.....

非鉄合金、すなわち鉄以外の金属を基とする合金 [2, 5]

注

グループ 43/00-49/00 がグループ 1/00-38/00 に優先する。
[2009. 01]

- 1/00 非鉄合金の製造（電熱法によるもの
C22B4/00；電解法によるもの
C25C1/24, C25C3/36） [2023. 01]
- B 超電導合金の製造
- N 水素吸蔵合金の製造
- P 形状記憶合金の製造
- Q 金属間化合物、化合物半導体の製造
- R 複合材料の製造〔金属または非金属の繊維
やフィラメントを含む合金の製造 47/00,
非金属を含む合金 1/10〕
- S ・金属-金属複合体の製造
- T アマルガムの製造
- G フエロアロイの製造
- J 還元、分解によるもの
- K ・液中でのもの〔溶融塩電解→C22C1/02, 501
@D〕
- L 拡散によるもの
- M 蒸発、凝縮、スパッタ、イオン注入等による

もの

Z その他

- 1/02 ・溶融によるもの [2006. 01]
- 501 ・方法に特徴のあるもの
- 501 A 方向性凝固法
- 501 C テルミット法
- 501 D 溶融塩電解法
- 501 E 超急冷法
- 501 F ガスにより処理するもの
- 501 G 表面層のみ溶解するもの
- 501 Z その他のもの
- 503 ・合金の主成分が特定されるもの
- 503 A 貴金属を基とする合金
- 503 B 銅を基とする合金
- 503 C 鉛を基とする合金
- 503 D 高融点金属（Ti, Zr, Hf, Cr, Mo, W, V, Ta, Nb）
を基とする合金
- 503 E ・チタン、ジルコニウム、ハフニウムを基と
する合金
- 503 F ・クロムを基とする合金
- 503 G ニッケルまたはコバルトを基とする合金
- 503 H ・R-Co 磁石
- 503 J アルミニウムを基とする合金
- 503 K マンガンを基とする合金
- 503 L マグネシウムを基とする合金
- 503 M 亜鉛を基とする合金
- 503 N その他の元素、または上記以外の元素を基
とする合金に共通に適用される方法
- 503 Z その他のもの
- 1/03 ・母合金を用いるもの [2006. 01]
- 1/04 ・粉末冶金によるもの（C22C1/08 が優先）
[2023. 01]
- A 銅を基とする合金の製造
- B ニッケル又はコバルトを基とする合金の製
造
- C 軽金属を基とする合金の製造
- D タングステン又はモリブデンを基とする合
金の製造
- E 他の金属を基とする合金の製造
- F 磁性合金の製造
- G ・希土類コバルト合金の製造
- H ・原料粉末の組成に特徴のあるもの
- J ・原料粉末の処理に特徴のあるもの
- K ・熱処理
- L ・成形に特徴のあるもの
- M ・焼結及び熱処理に特徴のあるもの
- N ・後処理
- P 接点材料合金の製造
- Q 集電材料合金の製造
- Z その他
- 1/047 ・金属間化合物を含むもの [2023. 01]
- 1/05 ・金属粉末と非金属粉末の混合物
（C22C1/08 が優先） [2023. 01]

C 2 2 C

A	金属－セラミツク複合金の製造	F	分散強化複合材料
B	・分散強化合金の製造	G	・熔融状態での複合
C	・・軽金属を基とするもの	H	・・化学反応を利用するもの
D	・・ニツケル又はコバルトを基とするもの	J	・固体状態での複合〔液相焼結含む〕
E	・・他の金属を基とするもの	K	・・化学反応を起すもの
F	・金属化合物を基とする合金の製造	Z	その他
P	ダイヤモンドを含有する合金の製造	1/11	・アモルファス合金の製造[2023. 01]
Q	摺動・摩擦材料の製造〔A が優先〕	1/12	・半固体状態での加工によるもの, 例. 合金を固液共存状態に維持することによるもの[2023. 01]
R	電気材料の製造	3/00	異なる成分組成の合金を得るための非鉄合金からの成分除去
S	・接点材料の製造	5/00	貴金属を基とする合金
T	・・金属－酸化物系合金	5/02	・金を基とする合金[2]
U	集電材料の製造	5/04	・白金族金属を基とする合金[2]
Z	その他	5/06	・銀を基とする合金[2]
1/051	・・・ほう化物, 炭化物, 窒化物, 酸化物またはけい化物を基とする硬質合金の製造; その出発原料として用いられる粉末混合物の調製[2023. 01]	C	電気接点用のもの
G	炭化物又は炭窒化物を基とするもの	D	歯科用のもの
H	炭化物を基とし, その他の金属化合物を含まないもの	Z	その他のもの
J	酸化物を基とするもの	5/08	・・次に多い成分として銅を含むもの[2]
K	ほう化物を基とするもの	5/10	・・次に多い成分としてカドミウムを含むもの[2]
L	窒化物を基とするもの	C	電気接点用のもの
M	高压相型窒化ほう素を基とするもの	Z	その他のもの
N	けい化物を基とするもの	7/00	水銀を基とする合金
Z	その他	9/00	銅基合金
1/053	・・・・硬質化合物のその場での形成によるもの[2023. 01]	9/01	・次に多い成分としてアルミニウムを含むもの[2]
1/055	・・・・炭素を用いるもの[2023. 01]	9/02	・次に多い成分として錫を含むもの[2]
1/056	・・・・気体を用いるもの[2023. 01]	9/04	・次に多い成分として亜鉛を含むもの[2]
1/057	・・・・固相反応焼結による硬質化合物以外の相のその場での形成によるもの, 例. 還元反応により形成された金属相[2023. 01]	9/05	・次に多い成分としてマンガンを含むもの[2]
1/059	・・・5 重量%未満の分散強化相を含む合金の製造[2023. 01]	9/06	・次に多い成分としてニッケルまたはコバルトを含むもの[2]
1/06	・精錬または脱酸に特殊な添加剤を用いるもの[2006. 01]	9/08	・次に多い成分として鉛を含むもの[2]
1/08	・開放孔または閉鎖孔をもつ合金[2006. 01]	9/10	・次に多い成分としてけい素を含むもの
A	発泡によるもの	11/00	鉛基合金
B	・熔融によるもの	11/02	・次に多い成分としてアルカリ金属またはアルカリ土類金属を含むもの[2]
C	・焼結によるもの	11/04	・次に多い成分として銅を含むもの[2]
D	材料の除去によるもの	11/06	・次に多い成分として錫を含むもの[2]
E	熔融によるもの	11/08	・次に多い成分としてアンチモンまたはビスマスをを含むもの[2]
F	焼結によるもの	11/10	・・錫を含むもの[2]
Z	その他	12/00	アンチモンまたはビスマスを基とする合金[2]
1/10	・非金属を含む合金 (C22C1/05, C22C1/08 が優先) [2023. 01]	13/00	すず基合金
A	電気接点用複合材料	13/02	・次に多い成分としてアンチモンまたはビスマスをを含むもの[2]
B	・内部酸化によるもの	14/00	チタンを基とする合金[2]
C	・液相法によるもの	A	水素貯蔵用合金
D	・固相法によるもの	B	超電導用合金
E	黒鉛を含有する複合材料	Z	その他

16/00	ジルコニウムを基とする合金[2]	B	接合, 被覆用合金〔肉盛, ろう接, 封着, 被覆等; 被接合材は含まない〕
18/00	亜鉛を基とする合金[2]	C	燃焼ガスタービン用合金
18/02	・次に多い成分として銅を含むもの[2]	D	型, 工具用合金〔鋳型, 圧延ロール等含む〕
18/04	・次に多い成分としてアルミニウムを含むもの[2]	E	油井管, ラインパイプ用合金〔耐原油, 耐サワーガス〕
19/00	ニッケルまたはコバルトを基とする合金	F	発電プラント用合金〔耐高温高压水, 耐放射線等; 原子力発電用が中心〕
F	水素吸蔵合金〔19/03-19/07 に該当するものも, F の分冊に入る〕	G	石油化学用合金〔耐浸炭〕
G	歯科用合金	H	浸漬, 電気メッキ用合金〔通電ロール〕
H	磁性合金	J	電気, 電子材料
J	・磁石合金	K	装飾用合金
K	内燃機関用弁, 弁座用合金〔単なる弁は含まない〕	L	γ' 強化合金
L	接合, 被覆用合金〔肉盛, ろう接, 封着, 被覆等; 被接合材は含まない〕	Z	その他〔A-L の付与にあたっては, 複数の記号に該当する場合, 先行する記号を付与〕
M	燃焼ガスタービン用合金〔例. タービンブレード, ノズル〕発電用蒸気タービンは入れない〕	19/07	・コバルトを基とする合金[2]
P	型, 工具用合金〔鋳型, 圧延ロール等含む〕	A	歯科用合金〔A61K, 6/04〕
Q	電気, 電子材料	B	弾性合金
R	装飾用合金〔時計, 眼鏡〕	C	磁性合金
Z	その他の合金〔G-Z については, ニッケル基またはコバルト基のいずれか一方であることが確定しているものは含まない→19/03-19/07; A-R の付与にあたっては, 複数の記号に該当する場合, 先行する記号を付与〕	D	・磁石合金
19/03	・ニッケルを基とする合金[2]	E	・・R-Co 磁石合金
A	形状記憶合金	F	内燃機関用弁, 弁座用合金
B	歯科用合金〔A61K, 6/04 も付与〕〔19/05 に該当するものも, B の分冊に入る〕	G	接合, 被覆用合金〔肉盛, ろう接, 封着, 被覆等; 被接合材は含まない〕
C	弾性合金〔19/05 に該当するものも, C の分冊に入る〕	H	燃焼ガスタービン用合金
D	磁性合金〔19/05 に該当するものも, D の分冊に入る〕	J	型, 工具用合金〔鋳型, 圧延ロール含む〕
E	・ニッケル-鉄系高透磁率合金〔パーマロイ〕〔19/05 に該当するものも, E の分冊に入る〕	K	発電プラント用合金〔耐高温高压水, 耐放射線等; 原子力発電用が中心〕
F	内燃機関用弁, 弁座用合金	L	浸漬, 電気メッキ用合金
G	接合被覆用合金〔肉盛, ろう接, 封着, 被覆等; 被接合材は含まない〕	M	電気, 電子材料
H	燃焼ガスタービン用合金	N	装飾用合金
J	型, 工具用合金〔鋳型, 圧延ロール等含む〕	Z	その他〔A-N の付与にあたっては, 複数の記号に該当する場合, 先行する記号を付与〕
K	発電プラント用合金〔耐高温高压水, 耐放射線等; 原子力発電用が中心〕	20/00	カドミウムを基とする合金[2]
L	浸漬, 電気メッキ用合金〔電極〕	21/00	アルミニウム基合金
M	電気, 電子材料	A	導電用
N	装飾用合金	B	軸受用
P	γ' 強化合金	C	陽極酸化用
Z	その他〔A-P の付与にあたっては, 複数の記号に該当する場合, 先行する記号を付与〕	D	ろう材用
19/05	・・クロムを含むもの[2]	E	複合材用
A	内燃機関用弁, 弁座用合金〔F01L, 3/02〕	F	ケーブルシース用
		G	超塑性
		H	電解コンデンサー用
		J	熱交換器用
		K	流電陽極用
		L	Al-Mn 系合金
		M	Al-Fe 系合金
		N	その他の組成を有する Al 合金
		Z	その他
		21/02	・次に多い成分としてけい素を含むもの[2]
		21/04	・・改良されたアルミニウム-けい素合金
		21/06	・次に多い成分としてマグネシウムを含むもの[2]

C 2 2 C

- 21/08 ・ ・ けい素を含むもの[2]
- 21/10 ・ 次に多い成分として亜鉛を含むもの[2]
- 21/12 ・ 次に多い成分として銅を含むもの[2]

注

・グループ C22C21/14-C22C21/18 においては、ラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、合金は最後の適切な箇所に分類される。

[4]

- 21/14 ・ ・ けい素を含むもの[2]
- 21/16 ・ ・ マグネシウムを含むもの[2]
- 21/18 ・ ・ 亜鉛を含むもの[2]
- 22/00 マンガンを基とする合金[2]
- 23/00 マグネシウム基合金
- 23/02 ・ 次に多い成分としてアルミニウムを含むもの[2]
- 23/04 ・ 次に多い成分として亜鉛またはカドミウムを含むもの[2]
- 23/06 ・ 次に多い成分として希土類金属を含むもの[2]
- 24/00 アルカリ金属またはアルカリ土類金属を基とする合金[2]
- 25/00 ベリリウム基合金
- 26/00 ダイヤモンドを含有する合金[4]
- A 炭化物系
- B 窒化物系
- C ほう化物系
- D 前記以外の金属化合物（けい化物、酸化物、炭窒化物等）系
- Z その他
- 27/00 レニウムまたはグループ C22C14/00 もしくは C22C16/00 において述べられていない耐火金属を基とする合金[2]
- 27/02 ・ バナジウム、ニオブまたはタンタルを基とする合金[2]
- 101 ・ ・ バナジウムを基とする合金
- 101 A超電導用合金
- 101 Zその他
- 102 ・ ・ ニオブを基とする合金
- 102 A超電導用合金
- 102 Zその他
- 103 ・ ・ タンタルを基とする合金
- 27/04 ・ タングステンまたはモリブデンを基とする合金[2]
- 101 ・ ・ タングステンを基とする合金
- 102 ・ ・ モリブデンを基とする合金
- 27/06 ・ クロムを基とする合金[2]
- 28/00 グループ C22C5/00-C22C27/00 に分類されない金属を基とする合金[2]
- A 希土類金属を基とする合金
- B 希土類以外の金属を基とする合金〔Ac 族, Tc, As, Ge, Ga, In, Tl を含む〕
- Z その他
- 29/00 炭化物、酸化物、ほう化物、窒化物またはけ

い化物を基とする合金、例. サーマット、またはその他の金属化合物、例. 酸窒化物、硫化物、を基とする合金[4]

A

炭窒酸化物基

B

・ 炭化物を次に多く含むもの

C

・ 窒化物を次に多く含むもの

D

・ 酸化物、ほう化物、けい化物又は炭窒化物のいずれかを次に多く含むもの

E

・ 他の金属化合物を次に多く含むもの

F

炭酸化物基

G

酸窒化物基

H

硫化物基

Z

その他

29/02 ・ 炭化物または炭窒化物を基とするもの[4]

A

窒化物を次に多く含むもの

B

酸化物を次に多く含むもの

C

ほう化物を次に多く含むもの

D

けい化物を次に多く含むもの

E

炭窒化物を次に多く含むもの

F

他の金属化合物を次に多く含むもの

Z

その他

29/04 ・ ・ 炭窒化物を基とするもの[4]

A

炭化物を次に多く含むもの

B

窒化物を次に多く含むもの

C

酸化物を次に多く含むもの

D

ほう化物を次に多く含むもの

E

けい化物を次に多く含むもの

F

他の金属化合物を次に多く含むもの

Z

その他

29/06 ・ ・ 炭化物を基とし、その他の金属化合物を含有しないもの[4]

A

炭化タンタル基

B

炭化クロム基

Z

その他

29/08 ・ ・ ・ 炭化タングステンを基とするもの[4]

29/10 ・ ・ ・ 炭化チタンを基とするもの[4]

29/12 ・ 酸化物を基とするもの[4]

A

炭化物を次に多く含むもの

B

窒化物を次に多く含むもの

C

他の金属化合物を次に多く含むもの

Z

その他

29/14 ・ ほう化物を基とするもの[4]

A

炭化物を次に多く含むもの

B

窒化物を次に多く含むもの

C

他の金属化合物を次に多く含むもの

Z

その他

29/16 ・ 窒化物を基とするもの[4]

A

窒化ほう素を基とするもの

B

・ 炭化物を次に多く含むもの

C

・ 酸化物を次に多く含むもの

D

・ ほう化物を次に多く含むもの

E

・ けい化物を次に多く含むもの

F

・ 炭窒化物を次に多く含むもの

G	・他の金属化合物を次に多く含むもの
H	窒化ほう素以外の窒化物を基とするもの
J	・炭化物を次に多く含むもの
K	・酸化物を次に多く含むもの
L	・ほう化物を次に多く含むもの
M	・けい化物を次に多く含むもの
N	・炭窒化物を次に多く含むもの
P	・他の金属化合物を次に多く含むもの
Z	その他
29/18	・けい化物を基とするもの[4]
A	炭化物を次に多く含むもの
B	窒化物を次に多く含むもの
C	他の金属化合物を次に多く含むもの
Z	その他
30/00	各成分を 50 重量%未満含有する合金[2]

注

グループ C22C30/02-C22C30/06 においては, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り, 合金は最後の適切な箇所に分類される。[4]

30/02	・銅を含むもの[2]
30/04	・錫または鉛を含むもの[2]
30/06	・亜鉛を含むもの[2]
32/00	その状態で加えたかまたは合金中で形成された酸化物, 炭化物, ほう化物, 窒化物, けい化物, またはその他の金属化合物, 例. 酸窒化物, 硫化物, を 5 重量%以上 50 重量%未満含有する非鉄合金[2]
A	Ag 基
B	Cu 基
C	・Sn を次に多く含むもの
D	・Zn を次に多く含むもの
E	・Ni を次に多く含むもの
F	・Al, Mn, Co 又は Pb のいずれかを次に多く含むもの
G	Pb 基, Sn 基又は Zn 基
H	Ti 基
J	Zr 基
K	V 基
L	Nb 基
M	Ta 基
N	Ni 基
P	Co 基
Q	Al 基
R	・Si を次に多く含むもの
S	・Mg を次に多く含むもの
T	・Zn を次に多く含むもの
U	・Cu を次に多く含むもの
V	Mg 基
W	W 基
X	Mo 基
Y	Cr 基
Z	その他

鉄合金, すなわち, 鉄を基とする合金[2, 5]

33/00	鉄合金の製造 (その熱処理 C21D5/00, C21D6/00)
33/02	・粉末冶金によるもの
A	低合金の製造
B	高合金の製造
C	・焼結ステンレス鋼の製造
D	マイクロ複合又は未拡散金属粒子含有合金の製造
E	非晶質粉末を用いるもの
F	鑄鉄粉末を用いるもの
G	磁性合金の製造
H	・希土類-鉄系合金の製造
J	・・原料粉末に特徴のあるもの
K	・・焼結及び熱処理に特徴のあるもの
L	・軟質磁性合金の製造
M	・・Si を含有する合金の製造
N	・・・Al を共に含有する合金の製造
Z	その他
101	・・開放孔または閉鎖孔をもつ合金
102	・・金属または非金属の, 繊維またはフィラメントを含む合金
103	・・非金属を含む合金
103 A	非金属を添加するもの
103 B	・硬質物質を添加するもの
103 C	非金属を析出させるもの [Fe-C 化合物のみを含むものは除く]
103 D	・炭化物以外を析出させるもの
103 E	遊離黒鉛粒子を含む合金の製造
103 F	マイクロ複合又は未拡散金属粒子含有合金の製造
103 G	分散強化合金の製造
103 H	・窒化物によるもの
103 Z	その他
33/04	・熔融によるもの[2]
A	フェロアロイの製造
B	・Fe-Cr
C	・Fe-Si
D	・Fe-B, Fe-N
E	・Fe-Mn
F	・Fe-Mo, Fe-V, Fe-W
G	・Fe-Nb, Fe-Ta, Fe-Zr 等
H	・Fe-Ni
J	鋼の製造
K	・Si-鋼
L	・Cr-鋼
M	・Ni-鋼
N	・Ni-Cr 鋼
P	・Pb-鋼, S-鋼, Se-鋼, Te-鋼
Q	・Mn-鋼, B-鋼
S	装置
Z	その他のもの

C 2 2 C

- 33/06 ・ ・ 母合金を使用するもの[2]
- 33/08 ・ 合金鑄鉄の製造[2]
- 33/10 ・ ・ マグネシウム添加処理を含むもの[2]
- 33/12 ・ ・ ・ 流動性噴射によるもの[2]
- 35/00 鉄または鋼の母合金

注

注

グループ C22C37/00 および C22C38/00 においては、ラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、合金はその合金成分の1つが分類される最後の適切な箇所に分類される。[2]

- 37/00 合金鑄鉄[2]
 - A 圧延ロール用鑄鉄
 - B ・ 複合ロール用
 - C ブレーキ用鑄鉄
 - D 防振鑄鉄
 - E 含浸鑄鉄〔主として含油〕
 - F 組織等が変化しているもの
 - G ・ 表面処理によるもの
 - H ・ チルド鑄物
 - J 鑄鉄複合体
 - K ・ 相対的摺動部材
 - P 可鍛鑄鉄
 - Q 白鑄鉄〔Crを必須成分としないもの〕
 - Z その他の鑄鉄
- 37/04 ・ 球状黒鉛を含有するもの
 - A オーステナイト組織のもの
 - B ベイナイト組織のもの
 - C マルテンサイト組織のもの
 - D パーライト組織のもの
 - E フエライト組織のもの
 - F 混合組織のもの
 - G パーミキュラー黒鉛鑄鉄
 - Z その他
- 37/06 ・ クロムを含有するもの[2]
 - A 白鑄鉄
 - Z その他
- 37/08 ・ ・ ニッケルを共に含有するもの
 - A 白鑄鉄
 - Z その他のもの
- 37/10 ・ アルミニウムまたはけい素を含有するもの
 - A アルミニウムを含有する鑄鉄
 - B 高シリコン耐熱、耐食鑄鉄
 - Z その他
- 38/00 鉄合金、例. 合金鋼（合金鑄鉄 C22C37/00）[2]
 - 301 ・ 低合金鋼
 - 301 A高張力、強靱性、耐熱性、低温用、加工性〔超塑性→Z〕、耐遅れ破壊性、焼入安定性

- 301 B・溶接性
- 301 F耐食性、耐錆性、耐海水性、耐水素誘起割れ性〔耐ステツプクラック性〕、荷油管
- 301 H工具用、金型用、耐摩耗性〔含：刃物・リンクチェン、摺動材料→Z〕
- 301 Lロール、ローラ
- 301 M快削性
- 301 N拡散表面処理〔浸炭、窒化、クロマイジング、浸硫〕用
- 301 R冷延薄板〔含：耐食性・耐候性〕
- 301 S・加工用
- 301 T・表面処理〔メツキ、ホーロー〕用、缶用
- 301 U・高張力〔含：みがき鋼帯〕
- 301 W熱延薄板
- 301 Y線材、棒材〔含：耐食性〕
- 301 Zその他のもの〔鋼粉末、耐熔融金属、レール、ボルト、ナット、バネ、超塑性、良酸洗性、防振性、ピストンリング、アペツクスシール、管、鎖、シヤドーマスクなど〕
- 302 ・ 高合金鋼
- 302 A高マンガン
- 302 B低温用
- 302 E工具用
- 302 H二相ステンレス
- 302 L原子炉用
- 302 Nマルエーjing
- 302 R熱膨張性、弾性
- 302 S封着用
- 302 T防振
- 302 V形状記憶、水素吸蔵
- 302 X被覆用
- 302 Zその他
- 303 ・ 磁性鉄合金（磁性材料の選択はH01Fも付与）
- 303 A硬質磁性
- 303 B・アルニコ（登録商標）系〔アルニ系を含む〕
- 303 C・Fe-Cr-CO系
- 303 D・RM〔希土類〕-Fe系
- 303 H・半硬質磁性
- 303 S軟質磁性
- 303 T・Fe-Si-Al系
- 303 U・電磁鋼板
- 303 V・結晶質急冷薄帯
- 303 Zその他
- 304 ・ 焼結鉄合金
- 38/02 ・ けい素を含有するもの[2]
- 38/04 ・ マンガンを含有するもの[2]
- 38/06 ・ アルミニウムを含有するもの[2]
- 38/08 ・ ニッケルを含有するもの[2]
- 38/10 ・ コバルトを含有するもの[2]
- 38/12 ・ タングステン、タンタル、モリブデン、バナジウムまたはニオブを含有するもの[2]

38/14	・チタンまたはジルコニウムを含有するもの[2]
38/16	・銅を含有するもの[2]
38/18	・クロムを含有するもの[2]
38/20	・銅を共に含有するもの[2]
38/22	・モリブデンまたはタングステンを共に含有するもの[2]
38/24	・バナジウムを共に含有するもの[2]
38/26	・ニオブまたはタンタルを共に含有するもの[2]
38/28	・チタンまたはジルコニウムを共に含有するもの[2]
38/30	・コバルトを共に含有するもの[2]
38/32	・ほう素を共に含有するもの[2]
38/34	・けい素を 1.5 重量%より多く共に含有するもの[2]
38/36	・炭素を 1.7 重量%より多く共に含有するもの[2]
38/38	・マンガン を 1.5 重量%より多く共に含有するもの[2]
38/40	・ニッケルを共に含有するもの[2]
38/42	・銅を共に含有するもの[2]
38/44	・モリブデンまたはタングステンを共に含有するもの[2]
38/46	・バナジウムを共に含有するもの[2]
38/48	・ニオブまたはタンタルを含有するもの[2]
38/50	・チタンまたはジルコニウムを含有するもの[2]
38/52	・コバルトを共に含有するもの[2]
38/54	・ほう素を共に含有するもの[2]
38/56	・炭素を 1.7 重量%より多く含有するもの[2]
38/58	・マンガン を 1.5 重量%より多く含有するもの[2]
38/60	・鉛, セレン, テルル, アンチモンまたは 0.04 重量%より多く硫黄を含有するもの[2]

43/00	放射性物質を含む合金[2]
45/00	アモルファス合金（非鉄アモルファス合金の製造 C22C1/11）[2023.01]
45/02	・主成分として鉄を含むもの[5]
A	磁性合金
Z	その他
45/04	・主成分としてニッケルまたはコバルトを含むもの[5]
B	磁性合金
C	・金属－半金属系
D	・金属－金属系
E	・金属－金属－半金属系
Z	その他

45/06	・主成分としてベリリウムを含むもの[5]
45/08	・主成分としてアルミニウムを含むもの[5]
45/10	・主成分としてモリブデン, タングステン, ニオブ, タンタル, チタン, またはジルコニウムを含むもの[5]

繊維またはフィラメントを含む合金[7]

注

47/00-49/00 のグループにおいては, 101/00, 111/00, および 121/00 のグループのインデキシングコードを付与することが望ましい。[7]

47/00	金属または非金属の繊維やフィラメントを含む合金の製造[7]
A	一方向凝固、析出によるもの（H11.5 新設）
Z	その他のもの（H11.5 新設）
47/02	・繊維またはフィラメントの予備処理[7]
47/04	・被覆によるもの, 例. 保護または活性化被覆[7]
47/06	・繊維またはフィラメントを, プリフォームに形成することによるもの, 例. 一時的なバインダを用いてマット状の要素を作るもの[7]
47/08	・繊維またはフィラメントを, 熔融金属に接触させることによるもの, 例. 繊維またはフィラメントを鋳型に入れて浸透させることによるもの[7]
47/10	・反応性雰囲気下での浸透, 反応性の浸透[7]
47/12	・機械的な圧力下での浸透または鋳造[7]
47/14	・粉末冶金によるもの, すなわち, 金属粉末と繊維またはフィラメントの混合物を処理することによるもの[7]
47/16	・金属の溶射によるもの, 例. プラズマ溶射[7]
47/18	・繊維またはフィラメントのプリフォームを用いるもの[7]
47/20	・少なくとも一つの金属層または金属板と, 一層の繊維またはフィラメントを含む要素を加圧および加熱することによるもの[7]
49/00	金属または非金属の繊維またはフィラメントを含む合金[7]
49/02	・マトリックス材料に特徴があるもの[7]
49/04	・軽金属[7]
49/06	・アルミニウム[7]
49/08	・鉄族金属[7]
49/10	・耐火金属[7]
49/11	・チタン[7]
49/12	・金属間化合物からなるマトリックス材料[7]
49/14	・繊維またはフィラメントに特徴のあるもの

金属－繊維の複合物に含まれる繊維材料の性質に
関して, 47/00 および 49/00 のグループと結びつくイ
ンデキシング系列[7]

- 101:00 非金属の繊維またはフィラメント[7]
- 101:02 ・ 酸化物を基とするもの, 例. 酸化物セラミ
ック繊維[7]
- 101:04 ・ ・ アルミニウム酸化物[7]
- 101:06 ・ ・ 混合酸化物, 例. アルミケイ酸塩または
ガラス[7]
- 101:08 ・ 非酸化物を基とするもの, 例. 非酸化物セ
ラミック繊維[7]
- 101:10 ・ ・ 炭素[7]
- 101:12 ・ ・ 炭化物[7]
- 101:14 ・ ・ ・ 炭化ケイ素[7]
- 101:16 ・ ・ 窒化物[7]
- 101:18 ・ ・ ・ 窒化ケイ素[7]
- 101:20 ・ ・ ホウ素[7]
- 101:22 ・ ・ ホウ化物[7]
- 111:00 金属繊維またはフィラメント[7]
- 111:02 ・ 耐火金属繊維またはフィラメント, 例. タ
ングステン繊維[7]
- 121:00 予備処理された繊維またはフィラメント
[7]
- 121:02 ・ 被覆された繊維またはフィラメント, 例.
保護被覆されたセラミック繊維[7]